

番号	領域	書名	著者名	所属等	発行年月	備考
2	どもり	もしお子さんがどもったら	長澤 泰子	国立特殊教育総合研究所	16.6	400
主な内容 <ul style="list-style-type: none"> ・うちのこどもは「どもり」だろうか？ ・ことばの専門家はどんな点から判断するか ・幼児のどもる原因 ・どのような援助をするか ・流暢性を増すための援助 ・日常生活、親の不安に応える・・・など身近に疑問点にお答えします。 						
目次 はじめに 一部 うちの子はどもりだろうか 1 どもっているのだろうか 2 ことばの専門家はどんな点からどもっていると判断するか..... 3 危険な徴候 4 幼児のどもる原因はなにか 5 どもる子ども・どもらない子ども 6 吃音について、その他のわかっていること 二部 どのように援助するか 1 流暢性を増すための援助 2 ことばの相互作用 3 ノンバーバル・コミュニケーション 4 日常生活 5 どもる子どもを援助する 6 非流暢性を受けとめること 7 (非流暢性)に対して(吃音)というレッテルをはらないこと。 8 親の不安を減らすこと 9 子どものどもりに対して適切に反応すること 10 子どもと吃音の話をしよう 11 時には直接的な助言を与えよう 12 子どものことばに対する恐れや苛立ちを減らすこと						
ひとこと・・・ 80年代の初版ですが、吃音に関する初歩的な、しかも基本的なことに関して知るのに、参考になる一冊です。						
このパンフのおすすめ・・・ 図書館 どもりA (PDF) でご覧になれます。						
備考 *初版はS61:年12月						

